

平成24年5月24日  
担当 第6学年 阿部 健

1 ねらい

仙台市縄文の森広場での見学や体験を通して、縄文時代の人々のくらしの様子や工夫、苦労などについて理解を深めることができる。

2 評価

見学や体験を通して、縄文時代の人々のくらしを理解し、工夫や苦労を感じたり、現在の生活に通じている点を考えたりすることができたか。

3 学習活動について

(1) 教科 社会科…「縄文のむらから古墳のくにへ」

(2) 身に付けさせたい力

①資料や年表などを活用しながら調べ、それらをもとに考える。

②見学や体験活動に意欲的に取り組み、理解を深める。

③分かったこと、考えたことをまとめ、ノートや新聞、発表などで表現する。

4 事前指導

(1) 縄文時代についての理解

①狩猟・採集など、自然を生かした生活が日本では長い期間に渡って営まれてきたこと。

②米作りが伝わってきたことによって、そのような生活が大きく変化していくこと。

(2) 見学、体験活動の確認

①具体的な活動の紹介と、調べ学習などの呼び掛け。

②準備物、マナーなどの指導。

5 当日の指導（活動）内容

(1) 見学学習

館内の展示見学。学習ノートを用いての自主学习

(2) 体験学習

石器作り体験。

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

分かったことを自主学习などにまとめ、壁新聞形式にまとめ、掲示する。

# 利用学習報告書

平成24年6月27日  
担当 第6学年 阿部 健

## 1 事後指導について

### (1) 実施日

平成24年6月4日(月) 2校時、6日(水) 5校時、7日(木) 2校時

### (2) 主な内容

- ・社会科の授業で、地底の森ミュージアム、仙台市縄文の森広場で体験、見学したことを振り返り、作文などにまとめた。
- ・体験を含め、縄文時代から古墳時代までの学習を壁新聞形式の「歴史新聞」にまとめた。

## 2 送付する資料

(1) 児童の体験後の感想(3点3名分、一部抜粋)

(2) 児童のまとめた歴史新聞(4枚4名分)。

## 2 - (1) 児童の体験後の感想

- ① まず最初に、二万年前の生活のあとを見ました。入ると木のにおいがして、木の根が生えていました。木の種類はアカエゾマツだそうです。シカのふんやたき火のあとがあり、たき火のまわりでやりを作ったあともありました。見学の後に、石器作りをしました。使う石は山形から採ってきたものだそうです。イスの上にあったシカのつので石をけずっていくのですが、何回もやっているとひざがいたくなりました。最後には二つに割れてしまい、とても残念でした。すごく難しかったです。でも、二万年前の人々は、2～3分で簡単にできたようなので、すごいなと思いました。(A子)



- ② ぼくは、初めに地底の森ミュージアムを見学しました。木やシカのふんの化石があったり、地下5mにあった木のまわりの水たまりの中にいた「クロヒメゲンゴロウ」の化石などを見て回りました。石器作りはなかなか石が硬くて難しかったです。ボランティアの方々分かりやすく教えてくださったので何とかできました。(B男)



- ③ 最初に二組と四組は、地底の森ミュージアムに行きました。二組は最初に展示室を見学しました。昔の気温が今の仙台よりかなり低いと知った時には驚きました。また、二万年前は縄文時代ではまだなく、旧石器時代ということも知りました。石器作りは最初のうちは難しいなと思いましたが、やっているうちにどんどん楽しくなってきました。自分の理想の形とは違いましたが、うまくできました。(C女)



## 歴史新聞

### 縄文時代

縄文時代の名の由来は縄のような土器がみつかったから。  
↑ こうりうの  
です  
かくだい図

縄文時代の道具  
いっきなり  
むすかしい問題  
です。縄文時代で  
最大級のものはこの内  
これ。

はじり  
28センチメートル  
44センチメートル  
たて穴住居  
五人ぐらゐで  
すんでいた  
0.5メートル  
ほってあった

↓縄文時代の  
く良へもの

春  
かむか  
しじみ  
かきのこ

夏魚  
ハマグリ  
わかめ

秋魚  
きのみ  
きたし

冬鳥  
熊鷹  
いのし

Q  
いっきなり  
むすかしい問題  
です。縄文時代で  
最大級のものはこの内  
これ。

① 三内丸山  
遺跡

② 縄文の森  
遺跡

③ 三内丸山  
遺跡

A.  
答え

### 弥生時代

家のがたちが変わる！

たて穴住居  
高床倉庫  
なま  
返し

スクープ  
まがまのつくり方  
石をよおす  
こをよおす  
まがまのつくり方  
まがまのつくり方  
まがまのつくり方

完成  
けする  
まがまのつくり方  
まがまのつくり方  
まがまのつくり方

↓米づくりが広がった  
ころの道具

かま  
くわ  
すき

鉄の道具だね  
どうたく  
剣

銅の道具  
完成した  
はかりの銅たぐ  
や剣は、  
まきつしていろ。

鉄や銅はめずらしい  
ので、争いがおこる。  
そのため敵かはら  
ないように

外ほりを  
つった  
国ができてくる

町  
国ができてくる  
外ほりを  
つった

### 古墳時代

古墳時代ではこんな物  
が入っている

約54cm  
約130cm  
ハニワ  
武人

古墳の副葬品  
金でできている  
首がすり  
金銅製の  
はきもの

どうじの生活かわかる！  
最大級の古墳大仙古墳  
世界で一番長い墓  
まわりは水で  
おおわれている  
約230m  
約305m  
約25m

今、工事すると  
2000人  
15年8ヵ月  
かかる円  
796億円  
はにか製造費  
60億5000万円

60人で  
2年6ヵ月  
20億円  
16億円

↓これをみると  
すこいんだた  
古墳のある所

旧石器時代を知る  
なら地底の森ミュージ  
にりましよう。  
シカのフンのある所、たき  
後などがあふ、なと  
石器もつくれる！

感想  
この新聞を書くのに  
むすかしが、たけど、  
きれいにまとめられ  
うれしーです。  
もし時間があたら  
地底の森ミュージアム  
縄文の木林についてみ  
あわり

# 歴史新聞

## 縄文時代

縄文時代の人は、狩りや漁、木の葉などでこってくりしていました。

さらに、石器や縄文土器、堅穴住居などもつくっていました。

### 道具

矢じり



だて穴住居は、地面を土のセンチメートルほどほり、数本の柱を立て、その上に屋をふいた家です。

直径三〜五メートルほどの広さで、四〜五人ほどの家族が生活していました。



## 石器づくり

した感想

ぼくは校外学習で、地産の森ニユージウムに行き、た時に石器づくりをしました。

シカの骨で石を削ってつくりました。きれいにしてくれてよかったです。



完成

## 弥生時代

弥生時代は、米づくりが伝わった時代です。米作りは、中国などから日本へくたわり西日本から広がっていききました。

ですが、鉄のどうぶや土地、水をめぐって村どうしのあがり合いが起こりました。

そして、あがり合いの中で勝ったあがり合いの指導者は、力をつけていき、豪族になりました。

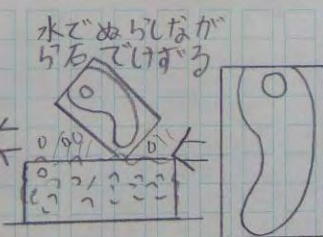
その中、外国から渡来人という人たちが、日本へわたってきていろいろな技術をつたえてきました。

た感想

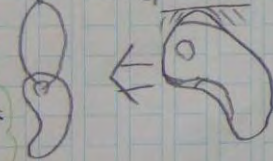
ぼくは、縄文の森に行くときに勾玉づくり体験をしました。

勾玉の石をけずるための石や紙やすりでけづってつくりました。

いごながたんとてたいへんでした。ですがきれいにつくれました。



しなげをけずる



完成

## 古墳時代

古墳時代は、各地にカをもつ王が現れ、古墳がつくられていた時代です。

王は、だんだん力をつけていよ本王になっていきました。

古墳は、王の墓であつた王は、大きな古墳がつくられました。

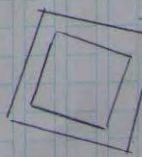
古墳を築くには、あつた技術者を招いて多くの人が働かせることのできる大きな力が必要であつたと考えられています。

その力の大きさは、古墳の石室の内部の様子や出土品からわかります。

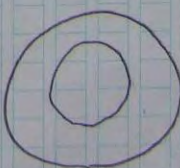
古墳には、さまざまな形のものがあつり、全国につくられています。それに大きさもちがいます。

## 古墳の形

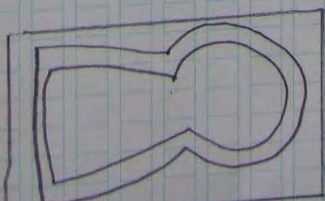
古墳



円墳



の剪 後円墳



このよな形の古墳があつりまふ。

# 歴史新聞

## 縄文時代

縄文時代の人たちは  
どのような暮らしを  
していたのだろうか。

★食べ物：自給自足

★道具：縄文土器

★狩りの道具

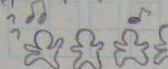
★家：たて内住居

★狩りの道具

なぜ縄文時代は、  
一万年も続いたのか。

★狩りの道具

★理由1  
★理由2

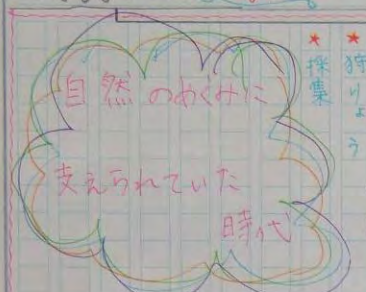


豊かな自然のめぐみに  
支えられていた時代

## 弥生時代

★田んぼ、畑がある  
★保存がきく  
★おもしろい  
★たくこんとれる  
★広い土地  
★水

動物・魚・木の实  
などをとって、  
生活していた。



中国・朝鮮から  
伝わった

★保存がきく  
★おもしろい  
★たくこんとれる  
★広い土地  
★水



★食料：土地、水、  
鉄の道具をめぐって  
あらしが起る。

★稲の指導者  
★指導者が現れ、  
稲作が盛んになる。

★大王  
★指導者の人は  
必ず豪族に  
なれるのかな？

★縄文時代2  
★自然のめぐみに  
支えられていた時代

★縄のもよう  
★縄のもようの土器  
★食べることに  
保存すること  
に使う。

★縄のもよう  
★縄のもようでかざった  
タリ形がハブになる。  
★使いやすくて丈夫な  
道具が残る。



★弥生時代  
★弥生土器  
★弥生時代の見つけ方

★大王・卑弥呼(ひみこ)  
★女王・卑弥呼(ひみこ)  
★日本へ渡った

★古墳時代  
★古墳時代  
★古墳時代

★渡来人：朝鮮半島から  
日本へ渡った  
★渡来人：朝鮮半島から  
日本へ渡った

★古墳時代  
★古墳時代  
★古墳時代

★渡来人  
★渡来人  
★渡来人

